

2023年7月5日 高校と地域の連携強化戦略会議 議事録

政策企画課

日時：2023年7月5日（水）10時から11時30分

場所：安芸高田市役所第2庁舎2階 221会議室

出席者：上水流委員長、木村委員、中間委員、牛来委員（オンライン）、佐田尾委員、本田委員、福岡委員、永井委員、高下委員、和田委員、大里委員、桑田委員

作成者：坂本

事務局

始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。議事までの進行させていただきます。政策企画課の佐々木です。どうぞよろしくお願いいたします。初めに、上水流委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願い致します。

上水流委員長

皆様おはようございます。県立広島大学の上水流です。本日は雨の中お集まりいただきありがとうございます。有意義な会議を素早く終わらせて、安全に帰りたいと思います。進行にぜひご協力よろしくお願い致します。

事務局

ありがとうございました。本日の会議時間は1時間30分を予定しております。今回の会議から安芸高田市教育委員会和田参事、吉田中学校大里校長、向原中学校桑田校長に加わっていただきます。簡単に1分程度自己紹介をよろしくお願い致します。

今回の会議から参加された委員の自己紹介

和田委員（安芸高田市教育委員会 教育参事）

今年度より教育委員会の教育参事をしております、和田と申します。昨年までは美土里中学校で校長をしておりました。どうぞよろしくお願い致します。

大里委員（吉田中学校 校長）

吉田中学校校長の大里です。本校の一学年の生徒数も80名ちょっとというようなところで年々減っている状況です。本校の卒業生の半分以上が吉田高校に進学するというので、非常にこの会議大切に思っております。よろしくお願い致します。

桑田委員（向原中学校 校長）

向原中学校校長の桑田でございます。本校全校生徒が64名、3年生から20名、21名、23名というような状況でございます。向原中学校で以前教員として勤務していたこともあり非常に馴染みがありますのでぜひこの戦略会議に少しでも力になることができたらと思います。よろしくお願い致します。

事務局

ありがとうございました。続きまして資料の確認をさせていただきます。お手元の方に配布しております資料、まずは会議次第、委員の名簿、資料2から資料4までこの度実施しました高校生アンケート、吉田高校・向原高校・全体という形になっており、資料5短期の取り組みのフォロー、資料5-1吉田向原高校中学、市教育委員会での協議資料。前回の会議録、昨年度実施しました、吉田向原高校のアンケート結果となっております。過不足等、よろしいでしょうか。それでは、議事

に入ります。上水流委員長進行よろしくお願いたします。

上水流委員長

それでは次第に沿って、進めて参りたいと思います。最初に (1) 高校生アンケートの結果報告について事務局のご説明をお願いいたします。

議事

- (1) 高校生アンケートの結果報告
- (2) 短期の取り組みのフォロー
- (3) 短期 ToDo の確認

【事務局説明】

(1) 高校生アンケートの結果報告

まず資料2の吉田高校から報告します。1ページ問2「あなたが住んでいる地域」の設問ですが、吉田高校の回答者数の全体の内約9割が安芸高田市内在住で、その内6割が吉田町在住という回答となりました。こちらは昨年のアンケートの結果とほぼ変わりません。

続いて3ページ問5「卒業後の進路希望」の設問ですが、3学年全体の進学希望が約73%と昨年の64.9%よりも増加しております。就職希望が約14%に対して昨年は18.3%と少し減ってきております。

4ページ問6「高校に対して期待していること」の設問ですが、1番多かったのが「①学力を身につけることができる」、続いて「④学校行事に活発に取り組むことができる」、「③興味・関心のある分野の学習を深めることができる」というような順位となり、昨年と同じような結果となります。

5ページ問7「高校を選んだ理由」で「⑩自宅から近く通いやすい」の回答が1番多く60%を超える状況となりました。これは吉田高校の特徴である約9割の生徒が安芸高田市内から通っているためだと推測ができます。続いて多いのが、「①学びたい、また興味・関心のある内容の学習ができる」となりました。昨年と同じような結果となりました。

6ページ問8「高校を選ぶとき参考にした情報は何か」の設問は、「②オープンスクールや学校説明会」が最も多く、続いて「①高校のホームページやパンフレット」が多い結果となりました。「⑤家族からの話」が今回3番目に多い回答になりましたが、昨年は5番目ということで増えております。中学校3年生の保護者の方への説明や理解度も今後は重要になってくるのではないかと推測ができます。

7ページ問9「通っている高校を弟や妹、後輩にすすめたいか」の設問ですが、「①すすめたくない」・「②どちらかといえばすすめたくない」の回答が昨年の45.5%に比べ約半分の22.4%と減っております。昨年は「③どちらともいえない」の回答がなかったので、一番多い回答となりました。

問10「現在の学校生活で該当するものはどれですか」の設問は、「②楽しいと思える授業がある」が一番多く、続いて「⑤良い人間関係が築けている」となり昨年と同じような結果となりました。

8ページ問11「大人になって実現したい夢があるか」ですが、全体で「①ある」が56%と半数以上となっておりますが、昨年は69%と少し減少しております。「②ない」は学年が上がるにつれ増加しており、「③不明」と合わせて昨年に比べ増加しています。

10ページ問12「これから学びたいことや、趣味・関心をもっていること」を一覧表にしています。

11ページ問13「現在通っている高校をよりよくするために、改善してほしいこと」の設問ですが、「④授業の充実」昨年と同じく最も多い回答となりました。続いて、「⑤他校との交流」、「②ネット環境の整備」が多い結果となりました。昨年は2番目に「①通学の改善」が多かったですが、今回はネット環境の整備を望む声が増えていることが分かりました。

12ページ問14「学校がある地域の方々と協働で取り組みたいこと」の設問ですが、昨年同様に

「①ある」と答えた生徒は6%でした。

続いて、資料3 向原高校の結果について報告します。問2「住んでいる地域」の設問ですが、昨年と同様に向原高校の回答者全体の内、約4割が安芸高田市内在住で、残り約6割が安芸高田市外在住となっております。

3 ページ問5「卒業後の進路希望」の設問ですが、全体の進学希望は約54%、就職希望は約14%となっており、昨年に比べて就職希望者が13%程度減っています。また、「分からない・決まっていない」が昨年に比べて約10%増えています。

4 ページ問6「高校に期待していること」の設問ですが、「①学力を身につけることができる」が一番多く、次に「⑥友人や先輩、先生などたくさんの人と出会うことができる」という結果でした。昨年2番目に多い回答は「⑤部活動に活発に取り組むことができる」でしたが、今回は4番目と減少しています。

問7「高校を選んだ理由」では、昨年同様に「⑩自宅から近く通いやすい」が約50%、続いて「⑧自分の実力にあっていた」が多い結果でした。

5 ページ問8「高校を選ぶときに参考にした情報」ですが、「③中学校の進路指導」が一番多く、次に「①高校のホームページやパンフレット」という結果になりました。昨年は「①高校のホームページやパンフレット」が一番多く、次に「②学校のオープンキャンパスや学校説明会」となっており、「③中学校の生徒指導」は2番目に低い回答でした。

6 ページ問9「現在通っている高校を、兄弟や後輩に進めたいか」ですが、昨年の「①すすめたくない」は6.8%に対して今回26.2%と増加、「⑤すすめたい」は13.6%に対して2.4%と減少しています。

問10「現在の学校生活で該当するものはどれですか」では、「⑤友人や先輩などと良い人間関係が作れている」が一番多く、次に「⑥部活動が楽しく、充実して取り組んでいる」・「⑧何も該当しない」が多い結果となりました。昨年は「②楽しいと思える授業がある」が一番多く、次に「⑤友人や先輩などと良い人間関係が作れている」が多い結果となりました。

7 ページ問11「大人になって実現したい夢があるか」では、全体の48%が「ある」でしたが、「ない」・「分からない」の回答が52%でした。昨年と大きな変化はありません。

8 ページ問13「改善してほしい点」では、「④授業の充実」が一番多く、問10で昨年回答数が一番多かった「楽しいと思える授業がある」の回答が減ったのはここが原因ではないかと推測ができます。次に多いのが「⑤他校との交流」という結果でした。昨年は「①通学の改善」の次に「④授業の充実」が多い結果となりました。

9 ページ問14「地域の方と協働で取り組みたいこと」の設問ですが、「ある」と答えた生徒は7%で、学年が上がるについて「ある」と答えた生徒が減ってきております。

以上で説明を終わります。

上水流委員長

ありがとうございました。ただいまのアンケート結果に関しまして、皆様の方から地域との連携、生徒確保という観点から意見をお伺いできればと思います。向原高校の中間校長先生にお伺いしたのですが、今回のアンケートで授業が楽しいと思っている生徒が減ってきており、授業の充実を望む生徒が増えてきていますが、学校におられるときになにか実感したりすることがありますか？以外な結果だったので気になりました。

中間委員

授業の充実は、学校としても昨年度からいわゆる授業改善のところを積極的に進めていますが、なかなか変わらない。従来の教え方でやってしまうところがあります。今盛んに言われている子供たちの主体的な学びや共同的な学びがありますが、いかにICTや他社と共同してそういった学びに近づけていくか。テーマを学校で設定をして、授業参画とか私もいろいろ工夫もありますので話をしたりしますが、なかなか変わらないというのは現実かなというところがあるので、生徒はそうい

った部分を敏感に受け取るのではないかと思います。生徒は小中学校から共同的な学び・ICT事業の活用というのはずっとやってきていて、高校の授業でそういった学びが少ないという印象を持っていると個人的に思います。

上水流委員長

吉田高校、向原高校でも授業の充実のところを指摘されていて、非常に大きい課題だなと思って拝見しました。

高下委員

吉田高校で、ネット環境の整備をよりよくするために改善してほしいとありますが、何か思い当たるところがあるのでしょうか。

木村委員

県立高校はおそらくどこも遅いと思います。吉田高校は特に農場が繋がりません。純粹に設備のところですか。教員のPC、業務用でも遅いです。県に要望は出していますが、県のシステム自体が遅いです。

高下委員

授業の中で急によく使うようになったとかそういうことじゃなく、もうずっと遅い感じですか？

木村委員

サクサク進むというのは全くない。ネット繋いで検索するのも遅いため時間がかかるので、改善が必要です。業務に支障がある状況です。

牛来委員

3つありまして、1つ目は上水流先生がおっしゃったことと重複することですが、「授業の充実」のアンケート結果が非常に気になりました。推測ではICTの活用とかそういったところだろうと説明がありましたが、実際本当に生徒が求めているのかというところを少し突っ込んでヒアリングしてみることも大事ではないかなと思いました。例えば、アクティブラーニングや参加型など教育の現場で先進的な事例がたくさんあると思うので、それを取り入れてみるのはどうかなと思いました。

2つ目は、オープンスクールや説明会での成果が出ておりますが、実際にオープンスクールに来てもらう、HPから見た生徒もいると思います。HPと一概にいてもSNSの活用がどの程度なされているのでしょうか。今の若い子たちはTikTokだと思いますが、動画を作成してYoutubeに掲載したりすることをされたらどうでしょうか。

3つ目は、アンケートで昨年と比べてある程度お伝えいただきましたが、できればグラフの中に昨対比が分かるようにしていただければと思いました。また、できればアンケートを取るのであれば3年後とかのKPI、目標値を設定した方が効果的ではないかと思いました。以上です。

上水流委員長

ありがとうございます。今質問した意見に関しまして両高校の校長先生、もしお答え可能な部分があればお願いしたいと思います。

木村委員

授業の充実については、学校としても短期型の学習ということで全面に出していますが、人の入れ替わり（人事異動の場合）で非常勤の先生や任期が1年の臨時任用の先生もいますのでどうしても十分継承できないところもありますし、研修等もやりますが、十分できてない部分もあります。授業のところでは感じているとこでいけば、特に落ち着かない生徒がおった場合など先生が計画的に

進めていけない場面も多々でてきており、生徒指導或いは生徒支援で対応をしていきますが、特性のある生徒もいますので、思うように時間が進まない場合もあります。ホームページとか SNS ですが、吉田高校は Twitter を活用しています。Youtube には、吉田高校の PR 動画を上げております。

中間委員

学校としてテーマを掲げながら授業の改善は進めていますが、先ほどご指摘があったように生徒が望んでいるものはどういうものなのかを分析するのは確かに必要だなと感じました。本校多様な生徒がいますので、なかなかそれらが一緒になって協働的な学びに結び付けられないところがあるのが現実としてあります。生徒がどういったことを望んでいるのかという分析は必要だと思いますので、そういったものも授業の改善に取り入れながらやっていきたいと思いました。今向原高校で活用している SNS は、HP と Instagram です。TikTok の活用を協議しましたが、前回お話ししたようにストップしています。発信力からすると TikTok は有効ではないかと認識していますが、まだ取り入れられていない状況です。

上水流委員長

アンケートの中でも、SNS・HP 等から進路を考えた生徒というのが高い傾向にありますので、いずれにしてもこの部分については、今後対応強化していかないといけない部分だと個人的にそういう認識をしました。この後の議題ですが、今高校と中学校がいろんな交流を深めていこうという話がどんどん出てきていますのでお互いの授業の中身について、学びあうことがあれば変わっていくところもあるのかなと思います。それから最後に出た部分は、去年の比較をされましたが、このアンケートが前回の会議の後にとって、まとめていただきようやく資料自体が今回まとまったところです。ただ言われたように比較できれば良い資料だと思いますので、次回以降そういう資料を出していただけないか事務局にお願いしたいなと思っております。それから KPI について、私が理解している限りでは今後継続的にこのアンケートを取っていききたいと思っています。今年度の議論の中で KPI 含めて、皆の共通の目標をしっかりと認識しければと思っています。

向原高校は通学の改善のところ、昨年度に比べて減っています。芸備線が止まったりバスとか減らしていたりして去年は高かったのかなと思いました。

中間委員

今年は芸備線が止まった回数が 0 回なので、実感していないのかなと思いますが、なぜ減ったのかは分かりません。

福岡委員

向原高校のアンケートを見せていただいて、回答数が少ないですが「地域の方々と共同で取り組みたいことのアイディア」で、3つの回答の内2つがごみのことでした。ごみが見えている状況なのか、またこのアイディアが出てくるような背景がもし先生に見えていたら教えていただきたいです。

中間委員

このアンケートの前後に、地域の方から高校生がごみを捨てて困るという苦情がありました。生徒と職員が出て、緊急で地域の清掃活動をしました。その後全校集会を開いて拾ったごみを見せながら、これだけ捨てていたんだよと生徒に伝えていたこともあったので頭にあったのではないかなというような気がしています。ただ、そういったことではなく、回答している子もいると思うので、地域の学校としてはやはり地域の方との良い関わりを継続してやっていきたいといろんなプロジェクト活動をしています。こういった清掃活動について、地域との関係を今後も継続していくという意味で、意識高く書いてくれた子もいると期待したいと思っています。

上水流委員長

アンケート問8の「高校を選ぶときに参考にした情報」ですが、オープンスクールや学校説明会は大事で数値が高いと思います。より中学校と連携しながらオープンスクールに来ていただくような機会を増やしていくことは重要なのかなと思いました。それから同様にです。特に向原高校の特徴として広島市内から来ている学生も多いので、広島市内の高校・中学校と連携ができたらと思います。それからHPやパンフレットは先ほど申し上げた通り、その充実度は昨年度お金を使ってHPの改良を図ったと思いますので、そこは今後も続けていかないといけないと思いました。

また、先輩友人・家族からの情報も非常に重要になっていて、口コミの部分は学校生活の楽しさとか授業内容のことだと思います。

当たり前のことなのですが、大学進学とか自分の夢を実現していく中で学力の向上は非常に重要な課題だと改めて認識しました。アンケートの資料ですが、また次回以降でも改めて協議する方向で進めたいと思います。

続いて、2つ目の議題として短期の取り組みのフォローです。これにつきまして、資料がありますので、和田委員からご説明をお願いします。

和田委員

吉田高校、向原高校、吉田中学校、向原中学校の4人の校長先生と一緒に協議をしてできそうなことを挙げました。まず吉田高校ですが、1つ目に部活動で子供同士の交流、2つ目に教員同士の交流。本音が言えるような少人数で協議ができればと思います。3つ目は探求科について吉田中学校の教員自身が十分に理解できていない状況があること。4つ目は吉田高校が出前授業を計画しているが、実際に吉田高校の生徒を連れてきてもらい、生徒が楽しそうにやっている様子とかファシリテートしている様子を中学校の生徒に見せることができればいいのではないかとこの協議になりました。5つ目ですが、吉田高校が行事をしっかり広報して、中学校は生徒へ参加を促していくことを協議しました。

続いて向原高校です。1つ目は部活での子供同士の交流で卓球部なら合同練習が可能ではないかとなりました。2つ目は、教員同士の交流ということで、お互いの授業を見合うことならできそうということになりました。3つ目は、異文化交流ということで地域の外国籍の方の農業を高校と中学校合同で体験活動を行うことができればいいのではないかととなりました。4つ目は、向原高校のイベントを積極的に広報し、中学校側は生徒に参加を促していくことを協議しました。

上水流委員長

ありがとうございます。この件に関しまして、各高校から進捗状況についてご紹介ください。

木村委員

1つ目の中学校の部活の合同練習ですが、顧問同士で連携を取って、今日程調整をしているところ。夏休み中心になるかと思います。2つ目の教員同士の交流ですが、生徒指導の教員同士の交流として日程調整をしております。3つ目の探求科の説明ですが、7月20日に教員が吉田中学校の3年生の先生方に説明させていただく予定です。吉田中学校だけでなく市内外の中学校に説明をしてお伺いしたいと思っております。4つ目は、授業によって生徒の都合もあるが、生徒も行って授業の補助をしてもらおうと思います。5つ目は、オープンスクールは9月2日午後を予定しており、生徒を中心として実施したいと思います。

中間委員

1つ目の生徒の交流ということで活動を一緒にできないかと中学校の先生とも話をさせていただきました。お互い人数も少なく、単独でなかなかチームを組むことができない状況で実際に一緒にやるとしたら何ができるかという話をさせていただき、卓球部が合同で活動ができるのではないかとということで具体を今後話していきます。2つ目は、教員同士の研修交流、いわゆる授業を見合うこ

とで、教員の指導力向上に繋がると思いますし、教員が学校を知る機会となると思っております。また高校側から中学校への出前授業や、これまで実施してきたマナー講座、甲田小学校でのハンドボール教室を通じた交流も今後進めていきたいと思っております。3つ目はまだ進んでいません。中学生と高校生と一緒に体験活動ができればと思っております。4つ目は、8月2日・9月30日にオープンスクールを行います、呼びかけをして多くの生徒に参加いただき、内の小さい小学校なりのよさを少しでも感じ取っていただけるようなものにしたいと思っております。

上水流委員長

ありがとうございます。皆様からの意見を頂ければと思います。確認ですが、向原高校の2つ目はこれから具体を話していくということですね。3つ目の異文化交流で高校・中学校と一緒に体験するには、お互いの先生同士が知り合って関係を作った上で走り出していく話なのかなと思いました。

中間委員

入学生確保に関わっての異文化体験というのは今進めているところですが、現役の中学生と高校生と一緒に体験するところまでまだ話は進んでおりません。

上水流委員長

これは、向原中学校としても行事等可能でしょうか。

桑田委員

昨年度も文化的行事と一緒に活動したり、小中高でも昨年度から行っていますので、継続して合同でというのは前向きに考えており、進めていきたいと思っております。

上水流委員長

安芸高田市の人権のフォローとか、あるのではないかと。多文化共生のところから何かコネクションが可能かなと思いました。福岡さんいろいろな形で手助けできる場所があるかなと思っております。

中学校と高校の連携は、今すぐできる大事な部分かと思えます。私に関わっている日彰館高校、吉舎中学校・小学校・保育園と連携している活動があって、繋がりを深めていって、親しみのあるところに来てもらうという戦略を取っています。

高下委員

こういう形（中学校の校長先生の同席）になったらいいなと思っていましたので、委員会の中に入れていただき、雰囲気を知っていただくことはすごくいいことかなと思っております。同じテーブルで議論できる形ができてよかったです。

上水流委員長

3つ目の議題ですが、短期 ToDo の確認ということで、前回長期と短期を分けて議論しています。短期は今年度中にすぐできることとして幾つかありまして、1つはオープンスクールの充実、2つ目は「変わる向原高校」、今年度は「向かう原点」と前回説明をいただきました。3つ目は情報発信、4つ目はさきほどの中高連携、5つ目は市外からの生徒の確保についてを議論してきました。今日は、向原高校からパンフレットをいただきましたので、紹介いただきたいと思っております。

中間委員

本校は普通科高校なので、当然国社数といった勉強・授業はやっていきますが、それでは他の普通科との差別化ができない。向原高校としてどういったものを全面に出していけるかといった時に、向原高校が置かれた位置と立地を考えた時に地域を外して考えることができないだろうということで、地域と協働する活動を今年度月曜日に80分1コマで生徒の資質能力の育成を目指してプロジェクト活動を行っております。大きな学校であれば、地域の方と一緒にやるとなるとなかなか難しいと思います。本校のように地域と比較的近い、そしてお互いすぐ話ができる関係を何とか活用しながら、生徒の力を育成していきたいというのが1つです。もう1つは、昨年度の会議からいろいろアイデアをいただきました異文化交流です。多文化共生というところで、生徒に経験をさせたい、そういった力をつけてやりたい。将来的に必ず必要な力になると思っていますし、生徒募集にも活かしていきたいので、今調整をしている段階です。地域との関わりと異文化交流を打ち出すことで、どれだけ成果があるか分かりませんが、他の普通科高校と差別化を進めていきたいと思今年度スタートしています。

中間委員

ありがとうございました。今仰っていただいたことはオープンスクールの充実にも関わるかなと思います。ここに関しまして各高校から説明をお願いします。

木村委員

オープンスクールがとても大事な機会というのは重々分かっておりますし、教諭もそこでいかに中学生にアピールして、吉田高校のよさを分かってもらうために内容の工夫に向けて頑張っております。1回目をやりましたが、生徒が案内やプレゼンをしましたが、十分ではなかったという反省もありまして、2回目に向けてやっていきたいと思いますが、まずは中学生に来てもらわないといけないので、しっかり広報したいと思います。吉田中学校、向原中学校からは来ていただいておりますが、他の中学校からも来ていただくように進路指導主事が説明をしています。

中間委員

向原高校は、1回目のオープンスクールで高校の授業体験、2回目は部活動体験をやろうと思っています。これらは、オープンスクールの形式的なものであって、オープンスクールの充実というところにどれだけ関与していくか少し疑問があります。どうして向原高校を選んだのか生徒に聞いた時に、オープンスクールに参加をしたという声はよく聞きます。オープンスクールの何がよかったかさらに聞いてみますと、先生と生徒の距離が近くてアットホームに感じているといった声を聞きますので、オープンスクールを実施するときにはおもてなしみたいなことをしないと、形式的なことだけをして、向原高校を選びませんとそういう話はよくしています。具体的部分はまだありませんが、そういった意識のところを変えながら、より充実させていきたいと思っております。

上水流委員長

ありがとうございました。オープンスクールを知っていただくために、何かできることがありますか？

本多委員

やっぱりSNSの活用だと思います。安芸高田市外へどのような形で学校に通知を出して知ってもらうか、或いはメディアの力を使って認識してもらうような外的な方法は非常に効果的だと思います。いわば営業なので、ちゃんと歩いて説明できる人を確保しないと、熱量が伝わらないと難しいと思います。

上水流委員長

ありがとうございます。学校以外で何かできるようなことがあればと思いました。向原高校は広島市内からたくさん来られているので、そこへの訴求力があればいいですね。大学でも、各教員が学校に行ってアピールしてくることはさせてもらっています。高校がしていることをサポートできるように議論できたらと思います。オープンスクールで生徒だけでなく、保護者とか1・2年生まで来ると、早い段階から一歩踏み出していけるように考えられたらと思います。

木村委員

SNSの活用が大事なので進めないといけないと思っています。Twitterとかもありますが、見てもらわないといけない。生徒募集に向けて頑張っていきたいですが、中学生が吉田高校のTwitterやHPを見る機会があるのでしょうか？

大里委員

何回もあるわけではないですが、そういう機会があります。

木村委員

吉田高校もいろいろやっていますが、果たして本当に見てもらえるのかどうか。頑張って写真等アップしていますが。進路とかで見てもらっていると思っています。

上水流委員長

今度から安芸高田市の広報誌にこのQRコードを毎回掲載したらどうですか？そんなスペースないですかね？

木村委員

問題は中学生がそこで見てくれるかどうかだと思います。生徒がTikTokとかで見ているのもよくわかりますが、見る内容は自分の興味があるものだと思います。

吉田高校のPR動画、昨年市の費用で作成しましたが、例えば各中学校で常に大画面のTVで流すとか、ちょっと目に触れる機会を何とか持ちたいと思っています。吉田高校では、玄関ですっと流し続けていますが、来ていただく方には目に触れます。

本多委員

それこそ、市役所のロビーとかもありますよね。モニター増やしたりとか。

木村委員

吉田高校でも考えました。クリスタルアージュとか、病院の待ち合わせ室や、郵便局・銀行にお願いすることも可能かなと思っています。

上水流委員長

QRコードを展示できる場所増やしていければいいですね。

本多委員

メーカーさんといろいろ提携できたらいいですね。各企業にポスター1枚でも張っていただくという形でも全然違うと思います。企業側にしても、高校と何か一緒にやっているよ・共感してまస్తుってというのは、地元企業としては全然悪いことではないし、むしろイメージ的にはアップしていると思います。

木村委員

広島銀行には、吉田高校のPR動画を少し流してもらいました。道の駅でも動画を流していただいています。エディオンで、展示のTVに吉田高校のPR動画を流してもらってもいいかもしれません。

上水流委員長

佐田尾委員、中国新聞にQRコードを掲載することができますか？

佐田尾委員

記事ですか？外部の動画をどの程度まで掲載しますか？

上水流委員長

例えば、向原高等学校の動画とかそういうのです。

佐田尾委員

自前（中国新聞）のQRなら掲載できますが、外部のQRは難しいと思います。

上水流委員長

分かりました。続いて、「変わる向原高校」について説明をお願いします。

中間委員

前回もお話しました、塾や英会話教室の設置というのを同窓会等に協力してもらいながら今話を進めていますが、まだ具体的になれていないものがあります。変わる向原高校として、前回の会議の中で、中学生にどのようにして伝えていくか、市外からの生徒の確保というところに関わってきますが、本校の実態としてやはり広島市安佐北区・高陽あたり、三次からも生徒が来ています。それらを含めて例えば地元だと仮に言えば、そこだけで生徒数の確保は難しいという現実があります。以前新聞に掲載されていましたが、27人を3年連続で切ったら廃校というのがありました。27名3年連続で確保しようと思ったら、地元だけでは難しいと思います。1つの戦力として、通常通えない・公共交通機関がないような所からどうにか来てもらうように考えていかないといけないと思っています。地域の外国人の方等がシェアハウスされるようなところに、生徒を下宿させてもらって、平日は向原高校に通いながら、土日はそういった外国籍の方と交流しながら農業をやったりと、ファームステイではないですが、生徒募集を打ち出していけたらと地元の方と話をしています。

合わせて、全国募集も視野に入れていて、国がやっている地域未来留学とか、そういったものに手を挙げていけないかなという段階です。全国募集しようとしたら毎年88万円かかります。88万円も出すお金はないので、地域みらい留学に登録せずに、文化に触れながら伸び伸びできると思ったことを打ち出していけたらと思っています。

上水流委員長

ありがとうございます。様々な取組をされていますね。88万円の費用対効果はどうでしょうか？

中間委員

例えば、津和野高校はすごく進んでおり、全国から多くの生徒が来ていて、おそらく2年生の1年間だけだったと思います。向原高校でやろうと思っていたのは、高校1年生から来て3年間やっていきたい。ただ88万円はなかなか出せません。それではなくて、下宿を確保してというところでしかいけないかなという現実があります。

上水流委員長

ありがとうございます。88万円をどう考えるかだと思います。当然今どこも人口が減ってきている中で、地域外から来てもらうとそこのコネクションをどう作っていくかというのは大事なことで、高校の3年間は貴重な時間ですので安芸高田市を選んでもらう、住んでもらうことに大きな影響を持つと思いました。

佐田尾委員

向原高校のスマホ教室、この前も新聞の記事に掲載されていましたが結構注目してしまっていて、これを何か大きい1つとしてできないかなと思いました。これで生徒が増えるとかに直結するものではないと思いますが、何かそういうデジタルデバイドの解消に繋がればいいと思います。何とか継続させて、それこそ総務大臣表彰ぐらいまで目指すくらい。今実際地方の携帯ショップはどんどんお店を閉めていますので、高齢者は非常に困っています。一方で政府は1人1台スマホのような恰好で、そのギャップが非常に大きいので、なんとか継続していただいて、これはボランティア活動なのか位置づけが少し分かりませんが注目しているので、引き続き行っていただきたいと思います。

中間委員

昨年度まで中心的にやっていた生徒が3年生だったため昨年卒業して、広島市役所に行きました。面接でもそういった話が出て、地域・住民サービスと結びつけて話をしたと言っていますが、そういったところを評価していただいたのかなと思っています。また青少年育成広島県民会議でも表彰いただいて、本人にとっても学校にとっても非常にありがたい話だと思っています。昨年やっていた生徒が3人で全員3年生、今年はどうするかと考えたときに、2年生2人が手を挙げてくれたので、毎週2人を中心に向原駅で取り組んでいます。こういった活動が生徒募集に繋がってほしいと思いますが現実には少し難しそうです。ただ一方でスマホを教えるというところで地域の方との関わり、スマホだけではなくて振り込め詐欺への対応の仕方など生徒は勉強して、高齢者の質問に答えようとしています。学力ではないですが、生きる力っていうのは非常にいてくると思いますので、1年生にも繋げていきたいと思っています。今年になって、スマホ教室を向原高校ではなく内の施設に来てほしいといった依頼もいただいていますので、出張スマホ教室をやっていくようにしています。

上水流委員長

ありがとうございます。ぜひ、そういった取り組みを継続していただき広報誌でも掲載をお願いしたいと思います。また佐田尾委員の知り合いの記者の中で取り上げていただける記者の方がいらっしゃれば紹介をお願いしていただければと思います。展開していきそうな話ですので、学校や地域でそういう取り組みを支えたり、認めていくようなことが必要だと思いますので、よろしくお願ひします。情報発信では、先ほどからいろんな形で動画をやりましょうと、前回の会議においても向原高校がいろいろと興味があって今のところはTikTokとありました。情報発信についてこれまでのような形で議論していますのでこれがよろしいかなと思っています。市外からの生徒確保ということで、向原高校でのいろんな取り組みのことをお話いただきました。吉田高校の方で情報提供できるものがあればお願いします。

木村委員

市外からについては、本当に目的意識を持った生徒が、何か例えば吉田高校でいうと看護・医療・福祉の授業がありますので、そういう目的で来る生徒がいます。一方広島市内から安芸高田市へ来られるというのは、何かしら事情があるというか、前の学校と違うところへ行きたいとかそこら辺の事情を考慮しないといけないというのがあります。

上水流委員長

ありがとうございます。県立広島大学と吉田高校は協定を結んでいますので、オープンスクールとかで大学の教授が行ったほうがいいとかご相談があれば言ってください。向原高校の多文化共生とかでも大丈夫です。また先ほどの繰り返しになりますが、高校が取り組んでいることを県教委がフォローしていかないといけないと思います。何か皆さんの方から、ご意見があればいかがでしょうか。

木村委員

本来であれば、私が個別で校長先生に聞いて回ればいいのかもかもしれませんが、市教委の方で市内中学生の進路第1希望・第2希望の調査というか、データを幾らか集計されていると思いますが、そこらへんを提供いただけますでしょうか。

永井委員

市教委が主体的に希望を把握することではなくて、各中学校が連携してやっております。その結果を校長から市教委へ情報を提供してもらい流れになっております。今後そのあたりは相談をしなければと思います。

今日こうやってありがたいことに、中学校長2名をメンバーに加えていただきましたので、この会議の生の雰囲気等も伝わっていくでしょうし、例えば先ほどのオープンスクールも作戦を取っていったらいいと思います。市外の高校の案内と同じような掲示のレベルで、市内の中学校にもやったり、高校への入学案内みたいな時には毎回校長が出向いている学校もあります。そのために、高校の先生も中学校の先生を知っていると、授業交流も日常的にやっていた時期もありましたが、教員同士が仲良くなるのが、大きい何か力になるような気がしますので、先ほどの進路希望あたりのところからまた一緒に考えていければと思います。

和田委員

今のこの早い段階での進路希望が幾らか分かると、何か違うというような点がありますか？

木村委員

それこそ変な話ですが、例年多かった学校が少なくなったり、これまで継続して送られていた学校が急にゼロになったりすると、吉田高校に何か問題があるといったらおかしいが、そう思ってしまう。

和田委員

早い段階で進路希望を情報提供させていただくことは特段問題ないですよね？

永井委員

全く問題ないです。

大里委員

吉田中学校では3回希望を取ります。今の懇談前の時期、次が9月、最終的に11月です。

本多委員

合わせてなんですが、保護者の方とかにアンケートを取られたりしますか？1~3年生の保護者が自分のお子さんをどういう風な方向に進めようかみたいなアンケートを取ったりとかはどうですか？

大里委員

現状、中学校での進路希望は3年生だけで、一応生徒と保護者とで話し合った結論を出してくださいというような形にしています。ただ、1・2年生へのアンケートはないです。

本多委員

そこで例えば「すぐーる」といアプリを使ってアンケートを添付して、安芸高田市内の保護者の方々とかに情報収集・情報共有も含めて知ってもらって、吉田高校・向原高校・外部にしてもどういう方向で頑張っているのかという情報の収集の機会になるかなと思い、少し提案してみました。

上水流委員長

今の件については次回以降の会議、長期的な話だと思いますので、1・2年生がどういう風に高校選択を考えていくかみたいところでこういうデータがあったらいいと僕は思いますが、中学校としての考え方もありますので、今すぐというのは難しいですが検討はしてもよいと思います。1年間継続してアンケートを取っていくと中学校の負担が増えたりすることがあるので、少し検討が必要かなと思います。先ほど出た3年生の進路情報については、一定程度提供できるということによろしいですね。

牛来委員

1つだけすみません。全国、市外に対してのPRというところで、ポータルサイトを先ほど検索して見ていました。「みんなの高校情報広島」という口コミサイトにたまたま向原高校を見つけました。口コミ5件中1件はとても良い口コミで1番最悪な1点の口コミではあまりよろしくないことが書いてあって、そういう人がいることがいけないということではなくて、いろんな生徒がいますのでしょうがないんですが、この書き込みを中学生が見た時にどう思うかが気になりますので、できればこういったポータルサイトを時々チェックして、良くない口コミが目立ってしまうので、それをどうにか良い形で良い口コミを増やしていく工夫がなされていけばいいと思いました。オープンキャンパスとかの情報を掲載するサイトがあるそうなので高校のオープンスクールの広報をしていければと思います。

木村委員

今の件についてサイトを見たら、5・6年前の古い情報で生徒指導が厳しいとか口コミがありました。何とかならないかと考えましたが、生徒に良い口コミを書いてくれと言うわけにもいきませんし、サクラで良い口コミを増やすわけにもいかず困っているところでもあります。課題であると認識しています。

上水流委員長

ありがとうございました。時間にも近づいて参りましたので、本日の会議は以上にしたと思います。

事務局

色々とお熱心なご協議ありがとうございました。次回の会議ですが、8月4日の午前中を予定しております。次回の議題は、短期の取り組みの再フォロー、中長期的な取り組みそういったところについて協議させていただきたいという風に思います。本日の会議は以上で終了いたします。どうもありがとうございました。